市　の　財　政

平成２０年１２月

千　葉　市

目　　次

Ⅰ　平成20年度上半期における予算の執行状況 ―― 1

Ⅱ　市民負担の状況 ―― 3

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高 ―― 4

Ⅳ　公営企業の上半期の業務状況 ―― 6

Ⅴ　平成19年度決算の状況 ―― 9

Ⅵ　財政指数 ―― 16

Ⅶ　千葉市のバランスシートと行政コスト計算書 ―― 18

※この公表の数値については、百万円単位で整理してあります。
　表示単位未満を四捨五入数値してあるので割合・一人当たりの金額・合計等が一致しない場合があります。

「千葉市財政状況の公表に関する条例」に基づき、市の財政状況について公表します。

Ⅰ　平成20年度上半期における予算の執行状況

平成20年９月30日現在

一　般　会　計

平成20年度の歳入歳出予算は、当初3,213億円でありましたが、その後９月に補正を行いましたので、前年度からの繰越事業費をあわせた９月末の予算現額は3,347億54百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,521億22百万円、予算に対する収入割合で45.4％（前年同期34.4％）、支出総額で1,162億7百万円、予算に対する支出割合で34.7％（前年同期35.2％）となっています。

特　別　会　計

公営企業会計を除く15の特別会計の総予算は、当初2,972億38百万円でありましたが、その後９月に補正を行いましたので、前年度からの繰越事業費をあわせた９月末の予算現額は2,991億81百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,117億84百万円、予算に対する収入割合で37.4％（前年同期36.3％）、支出総額で1,468億23百万円、予算に対する支出割合で49.1％（前年同期47.2％）となっています。

一般会計と特別会計の平成20年９月30日現在の予算執行状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

区分／会計名	予算現額 当初予算額	予算現額 補正予算額（上期）	予算現額 繰越事業繰越額	予算現額 計	歳入 収入済額（累計）	歳入 収入割合（累計）	歳出 支出済額（累計）	歳出 支出割合（累計）
一　般　会　計	321,300	2,896	10,558	334,754	152,122	45.4 %	116,207	34.7 %
国民健康保険事業	80,840	802	89	81,731	24,201	29.6 %	31,302	38.3
老人保健医療事業	6,247	491	－	6,739	4,147	61.5 %	4,779	70.9
介護保険事業	37,709	668	－	38,377	14,882	38.8 %	15,513	40.4
後期高齢者医療事業	6,166	－	－	6,166	2,344	38.0 %	1,143	18.5
母子寡婦福祉資金貸付事業	291	－	－	291	189	64.9 %	112	38.5
霊園事業	678	－	－	678	387	57.1 %	316	46.6
農業集落排水事業	455	－	－	455	22	4.8 %	23	5.1
競輪事業	17,478	－	－	17,478	3,467	19.8 %	3,674	21.0
中央卸売市場事業	1,348	－	－	1,348	331	24.6 %	395	29.3
都市計画土地区画整理事業	766	－	43	809	146	18.0 %	262	32.4
市街地再開発事業	2,631	－	255	2,886	53	1.8 %	1,427	49.4
動物公園事業	1,437	－	－	1,437	229	15.9 %	500	34.8
公共用地取得事業	986	－	－	986	0	0.0 %	0	0.0
学校給食センター事業	2,184	－	－	2,184	433	19.8 %	655	30.0
公債管理	138,022	△ 406	－	137,616	60,953	44.3 %	86,720	63.0
小　計	297,238	1,555	387	299,181	111,784	37.4 %	146,823	49.1
合　計	618,538	4,451	10,945	633,935	263,906	41.6 %	263,030	41.5

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

今期中の主な内容は次のとおりです。

９月補正予算

一　般　会　計	28億96百万円	
中小企業金融対策	17億21百万円	中小企業資金融資預託金・利子補給
都市基盤整備	9億18百万円	蘇我スポーツ公園整備他
市税過年度還付金等	6億円	市税の過年度還付金及び還付加算金
道路・街路整備	2億60百万円	市道幕張町216号線道路新設改良他
待機児童対策	1億35百万円	小規模保育所等整備
鎌取第三中学校（仮称）整備	△5億58百万円	鎌取第三中学校(仮称)用地取得

特　別　会　計	7億97百万円	
介護保険事業	6億68百万円	償還金、介護給付準備基金積立金
国民健康保険事業	5億35百万円	老人保健拠出金
公債管理	△4億 6百万円	繰入金

※　その他、国民健康保険事業会計及び老人保健医療事業会計におきまして、繰上充用に係る歳入歳出予算の増額を、専決処分により補正いたしました。

平成20年5月23日　国民健康保険事業会計　2億67百万円

平成20年5月23日　老人保健医療事業会計　4億91百万円

一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。
特別会計	特定の目的のために設けられた会計をいいます。千葉市では国民健康保険事業ほか14の会計が条例で設置されています。 また、病院事業、下水道事業、水道事業は公営企業会計と呼び、公営事業法にもとづき独立採算を原則として設置された特別会計で、その他の特別会計とは区別しています。
補正予算	予算の編成後に生じた理由によって、規定予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立した予算をいいます。

Ⅱ　市　民　負　担　の　状　況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約５割を占めています。

平成20年９月末の予算額でみますと、市税の予算額は、 1,806億10百万円（滞納繰越分と国有資産等所在市町村交付金及び納付金を除く。)となっていますので、これを平成20年９月末の人口（923,273人）及び世帯数（396,600世帯）で割りますと、市民１人当たり195,619円、１世帯当たり455,395円の負担となっています。

また、市民のために使われた経費（これを行政経費といいます。ただし、歳出予算現額から繰越額を除く。）は、市民１人当たり351,138円、１世帯当たり817,438円となっています。

なお、行政経費と市税負担額の差額は、市債や国庫支出金等市税以外の歳入で対応しています。

市民一人当たりの市税負担額・・・・・・・	195,619 円	うち市民税	98,969 円
		うち固定資産税	70,909 円
		その他	25,741 円
１世帯当たりの市税負担額・・・・・・・・	455,395 円	うち市民税	230,396 円
		うち固定資産税	165,075 円
		その他	59,924 円
市民一人当たりの行政経費・・・・・・・・	351,138 円		
１世帯当たりの行政経費・・・・・・・・・	817,438 円		

行政経費の状況

	民生費	土木費	公債費	総務費	教育費	衛生費	その他	合計
構成比	28.0%	16.7%	15.8%	10.3%	9.4%	9.0%	10.8%	100.0%
1人当たり	98,239 円	58,467 円	55,470 円	36,227 円	33,142 円	31,726 円	37,867 円	351,138 円
1世帯当たり	228,697 円	136,109 円	129,132 円	84,334 円	77,153 円	73,858 円	88,155 円	817,438 円

（注）人口、世帯数は住民基本台帳登録による。

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高

平成20年９月30日現在

財 産 の 現 在 高

公　有　財　産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と、普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）とに区分されます。公営企業会計を除く公有財産の現在高は次のとおりです。

区分			土地	建物	船舶	浮浅橋	航空機	有価証券	出資による権利
			㎡	㎡	隻	個	機	百万円	百万円
公有財産	行政財産	公用	905,035.75	230,522.85	1	1	2		―
		公共用	13,580,447.43	2,295,173.77					―
		計	14,485,483.18	2,525,696.62	1	1	2		―
	普通財産		651,806.06	64,369.98				1,184	2,705
合計			15,137,289.24	2,590,066.60	1	1	2	1,184	2,705

基　　金

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。

（単位：百万円）

区分	現在高	設置目的
文化基金	362	市民文化の振興を図るため
市庁舎整備基金	3,554	市庁舎整備事業に必要な経費に充てるため
財政調整基金	773	財政の健全な運営に資するため
市債管理基金	22,152	市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理のため
社会福祉基金	406	社会福祉の増進を図るため
地域環境保全基金	353	地域の環境の保全及び創造に資するため
地下水浄化事業推進基金	54	地下水の水質浄化事業を推進するため
リサイクル推進基金	190	廃棄物の減量及び再利用を推進するため
緑と水辺の基金	3,427	緑と水辺を生かした快適な都市環境を創造するため
都市モノレール基金	238	都市モノレールの更新等に必要な資金を積み立てるため
美術品等取得基金	1,002	美術館に収蔵する美術品等を円滑に取得するため
介護給付準備基金	1,528	介護保険事業に係る財政の中期的な調整を図るため
競輪事業基金	152	競輪場の施設の整備及び競輪事業の健全な運営のため
合計	34,191	

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計が一致しない場合があります。

市債の現在高

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といいますが、これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備も可能となります。

（単位：百万円）

区分	現在高	借入先				
		公的資金				民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫	その他	
一般会計	702,995	103,207	48,205	8,919	0	542,664
特別会計	35,748	7,211	16	3,583	1,347	23,591
市街地再開発事業	14,257	606	0	45	0	13,606
公共用地取得事業	8,299	0	0	0	0	8,299
その他	13,192	6,605	16	3,538	1,347	1,686
合計	738,743	110,418	48,221	12,502	1,347	566,255

（注）現在高には、千葉市債管理基金積立額は含まない。

一時借入金の現在高

年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足を生じた場合に、その不足を補うために、一般会計にあっては銀行等から、予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を一時借入金といい、その状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入高	今期中償還高	今期末残高
一般会計	50,000	0	26,500	26,500	0

Ⅳ　公営企業の上半期の業務状況

平成20年９月30日現在

事業の概況

病院事業

青葉病院及び海浜病院の今期中の入院及び外来患者数の利用総数は、265,660人となっています。

区分	病床数	今期中の患者利用状況				診療科目
		入院患者数	１日平均	外来患者数	１日平均	
	床	人	人	人	人	
青葉病院	380	49,657 (53,094)	271 (290)	99,060 (99,681)	792 (804)	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科
海浜病院	301	39,667 (40,925)	217 (224)	77,276 (82,371)	582 (623)	内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

（　）は前年同期の状況です。

下水道事業

今期中の有収水量は、４６，６５３，９１０m^3となっています。

行政区域内人口	944,557 人	整備区域内人口	916,909 人
下水道汚水処理普及率	97.1 %		
接続戸数	386,759 戸	うち今期中増加接続戸数	5,971 戸
接続人口	896,509 人	うち今期中増加接続人口	9,218 人
整備面積	12,118 ha	うち今期中増加整備面積	6 ha
今年度接続助成予定件数	406 件	うち今期中接続助成件数	49 件

水道事業

今期中の配水量は、２，３４９，８９６m^3となっています。

計画給水人口	78,100 人	給水区域内人口	56,832 人
給水普及率	79.9 %		
給水戸数	17,009 戸	うち今期中増加給水戸数	615 戸
給水人口	45,393 人	うち今期中増加給水人口	1,321 人

配水状況

区分	今期中
配水量	2,349,896 m^3 (2,311,629)
有収水量	2,216,754 m^3 (2,191,423)

（　）は前年同期の状況です。

経 理 の 概 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の予算執行状況は次のとおりとなっています。

なお、表に使われている収益的収支とは、医療サービス、汚水の処理、水の供給のように経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

病 院 事 業

（単位：百万円）

区分		予算現額				収入		支出	
		当初予算額	補正予算額（上期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
青葉病院	収益的収入	9,310	—	—	9,310	2,880	30.9%		
	収益的支出	9,309	—	—	9,309			3,643	39.1%
	資本的収入	180	—	—	180	0	0.0%		
	資本的支出	1,063	—	—	1,063			28	2.6%
海浜病院	収益的収入	7,297	—	—	7,297	3,449	47.3%		
	収益的支出	7,296	—	—	7,296			3,101	42.5%
	資本的収入	312	—	—	312	0	0.0%		
	資本的支出	976	—	—	976			395	40.5%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

下 水 道 事 業

（単位：百万円）

区分	予算現額				収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	22,542	—	—	22,542	15,274	67.8%		
収益的支出	22,148	—	—	22,148			5,319	24.0%
資本的収入	17,407	—	7,780	25,187	1,539	6.1%		
資本的支出	25,887	—	7,965	33,852			10,706	31.6%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

水 道 事 業

（単位：百万円）

区分	予算現額				収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	2,115	—	—	2,115	671	31.7%		
収益的支出	2,058	—	—	2,058			631	30.7%
資本的収入	1,712	—	80	1,792	0	0.0%		
資本的支出	2,303	—	92	2,395			572	23.9%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

市債の現在高

（単位：百万円）

公営企業会計名	現在高	借入先			
		公的資金			民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫	
病院事業	25,663	17,323	1,884	3,690	2,766
下水道事業	273,193	102,097	57,580	97,399	16,117
水道事業	15,541	9,162	0	6,190	189
合計	314,397	128,582	59,464	107,279	19,072

一時借入金の現在高

（単位：百万円）

公営企業会計名	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入高	今期中償還高	今期末残高
病院事業	300	0	0	0	0
下水道事業	15,000	0	1,200	0	1,200
水道事業	1,000	0	0	0	0

Ⅴ　平成19年度決算の状況

平成19年度は、新行政改革推進計画及び財政健全化プランに基づき、これまで以上に創意工夫を凝らし、行政改革の推進と財政健全化に向けた取組みを強化し、改善策については積極的に推進することとしたほか、第２次５か年計画の２年次目として、本市の将来像の実現と市域の均衡ある発展を目指し、「千葉市らしさの確立」や「安全・安心のまちづくり」など、１２の「まちづくりの大切な視点」を踏まえ、緊急性・重要性などから事業の厳選を行った上で、計画事業の着実な推進を図ることを基本方針として予算を編成した。

予算の執行にあたっては、常に最少の経費で最大の効果をあげることを念頭に、一人ひとりの市民が、将来に夢をもつとともに、千葉市に住んでいることに誇りをもち、子育てや健康、環境など地域社会での生活に不安を感じることなく、安全で安心して、いきいきと暮らせるまちづくりを実現するため、保健・医療・福祉、環境、教育等の各分野について、ハード・ソフトの両面にわたる施策を推進するとともに、道路、公園、下排水、廃棄物処理等の生活関連施設や、街路、土地区画整理等の都市基盤の整備を推進し、行政水準の維持向上と市民福祉の一層の増進に努めた。

この結果、一般会計の決算額は、歳入3,599億3,437万3千円、歳出3,563億6,371万7千円となり、特別会計（企業会計の病院事業、下水道事業及び水道事業を除く。）14会計の決算額は、歳入3,107億8,538万8千円、歳出3,105億9,542万5千円で、一般会計及び特別会計をあわせた決算額は、歳入6,707億1,976万1千円、歳出6,669億5,914万1千円となった。

一般会計の収支状況

区　　分	金　　額
1 歳入総額	359,935　百万円
2 歳出総額	356,364
3 歳入歳出差引額	3,571
4 翌年度へ繰り越すべき財源	3,265
5 実質収支額	306

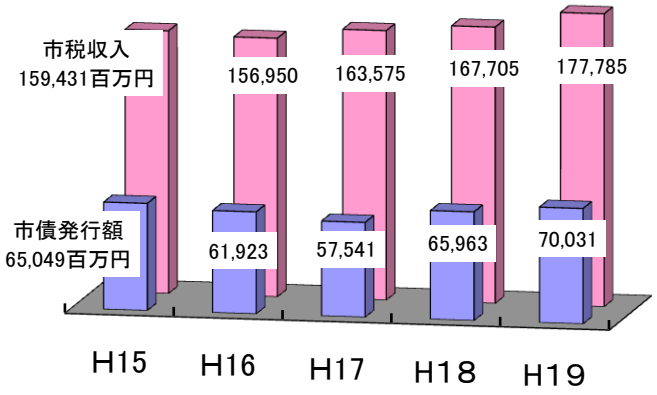
2　決算の内容
（１）一般会計
（歳入）
財源別表（対前年度比較）

（単位：百万円）

科目		平成19年度 決算額	平成19年度 構成比	平成18年度 決算額	平成18年度 構成比	対前年度増減 増減額	対前年度増減 増減率
自主財源	市自体の財源	219,997	% 61.1	207,363	% 59.4	12,634	% 6.1
	市税	177,785	49.4	167,705	48.0	10,080	6.0
	諸収入	20,745	5.8	17,967	5.2	2,778	15.5
	繰入金	6,143	1.7	5,011	1.4	1,132	22.6
	使用料及び手数料	8,225	2.3	7,442	2.1	783	10.5
	その他	7,099	1.9	9,238	2.7	△ 2,139	△ 23.2
依存財源	市　債	70,031	19.5	65,963	18.9	4,068	6.2
	国から交付されるもの	44,239	12.3	52,309	15.0	△ 8,070	△ 15.4
	国庫支出金	39,173	10.9	37,429	10.7	1,744	4.7
	地方交付税	547	0.2	541	0.2	6	1.1
	その他国から	4,519	1.2	14,339	4.1	△ 9,820	△ 68.5
	県から交付されるもの	25,668	7.1	23,560	6.7	2,108	8.9
	小　計	139,938	38.9	141,832	40.6	△ 1,894	△ 1.3
計		359,935	100.0	349,195	100.0	10,740	3.1

自主財源と依存財源
　自主財源とは、市税や使用料及び手数料等のように市が自主的に収入するものです。
　依存財源とは、国庫支出金や県支出金、市債等のように国や県の意思決定に基づいて収入されるものです。

市税収入と市債発行額の推移



（歳出）

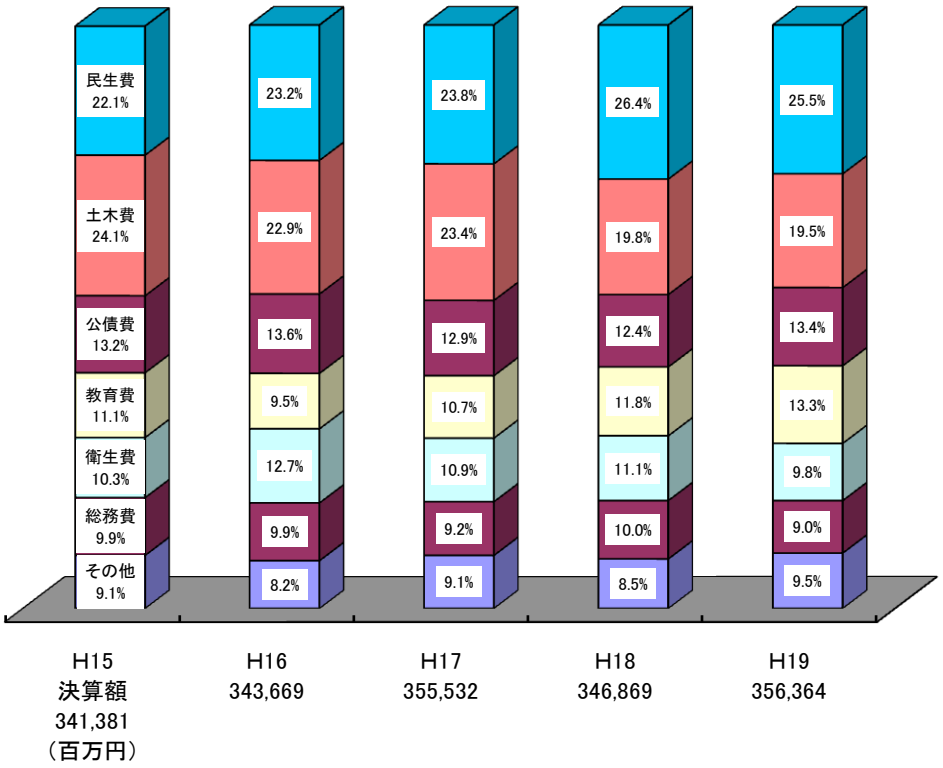
目的別表（対前年度比較）

（単位：百万円）

科　　目	平成19年度		平成18年度		対前年度増減	
	決　算　額	構成比	決　算　額	構成比	増減額	増減率
民　生　費	90,794	25.5	91,668	26.4	△ 874	△ 1.0
土　木　費	69,540	19.5	68,742	19.8	798	1.2
公　債　費	47,655	13.4	42,899	12.4	4,756	11.1
教　育　費	47,347	13.3	40,830	11.8	6,517	16.0
衛　生　費	34,982	9.8	38,475	11.1	△ 3,493	△ 9.1
総　務　費	32,050	9.0	34,586	10.0	△ 2,536	△ 7.3
そ　の　他	33,996	9.5	29,669	8.5	4,327	14.6
計	356,364	100.0	346,869	100.0	9,495	2.7

目的別経費と性質別経費
　目的別経費とは、どのような行政上のために費やされるかという基準により分類されるもので、議会費、教育費、土木費等をいいます。
　性質別経費とは、具体的な行政目的がどのようなものであるかにかかわりなく、その経費がどのような性質を有するかという点に着目して分類するもので、人件費、物件費、維持補修費等をいいます。

目的別経費の推移



性質別表（対前年度比較）

（単位：百万円）

科目		平成19年度		平成18年度		対前年度増減	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人件費	64,447	% 18.1	64,424	% 18.5	23	% 0.0
	扶助費	52,999	14.9	49,861	14.4	3,138	6.3
	公債費	47,251	13.2	42,653	12.3	4,598	10.8
	小計	164,697	46.2	156,938	45.2	7,759	4.9
投資的経費計		78,577	22.1	67,995	19.6	10,582	15.6
その他の経費	物件費	41,462	11.6	40,183	11.6	1,279	3.2
	補助費等	26,497	7.4	25,544	7.4	953	3.7
	繰出金	21,638	6.1	35,063	10.1	△ 13,425	△ 38.3
	その他	23,493	6.6	21,146	6.1	2,347	11.1
	小計	113,090	31.7	121,936	35.2	△ 8,846	△ 7.3
計		356,364	100.0	346,869	100.0	9,495	2.7

義務的経費と投資的経費

義務的経費とは、極めて硬直性の強い経費であって、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費をいいます。

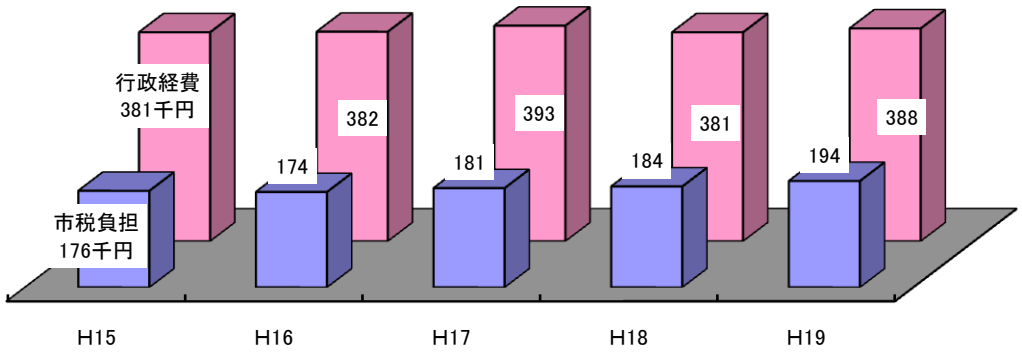
投資的経費とは、支出効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るもので、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費をいいます。

（市民負担の状況）

市政運営に必要な経費の財源は、大きく自主財源と依存財源に分けられますが、そのうち自主財源の大部分を占めているのが市税です。

市民のために使われる経費（行政経費）ならびに市税負担額の状況について、市民１人当たり（各年度末日の住民基本台帳登録人口）で見ますと次のような推移となっております。

市民１人当たりの市税負担と行政経費



(2)　特別会計

平成19年度の公営企業会計を除く特別会計14会計の決算総額は歳入で3,107億85百万円、歳出で3,105億95百万円となっています。

会計別の決算額は、次の表のとおりですが、公債管理、国民健康保険事業、老人保健医療事業、介護保険事業、競輪事業の５会計で、歳入歳出とも決算総額の96.0%を占めています。

（単位　百万円）

会計別		予算現額	歳入		歳出			歳入歳出差引額
			収入済額 (A)	収入割合	支出済額 (B)	支出割合	翌年度繰越額	(A)-(B)
特別会計	国民健康保険事業	82,428	80,442	97.6	80,620	97.8	89	△ 178
	老人保健医療事業	45,858	44,401	96.8	44,892	97.9	－	△ 491
	介護保険事業	36,219	35,535	98.1	34,867	96.3	－	668
	母子寡婦福祉資金貸付事業	381	403	105.7	282	74.0	－	121
	霊園事業	679	645	95.0	645	95.0	－	0
	農業集落排水事業	851	732	86.0	732	86.0	－	0
	競輪事業	16,775	15,556	92.7	15,543	92.7	－	13
	中央卸売市場事業	1,203	1,126	93.6	1,126	93.6	－	0
	都市計画土地区画整理事業	1,315	1,210	92.1	1,205	91.7	43	5
	市街地再開発事業	2,979	2,457	82.5	2,404	80.7	255	53
	動物公園事業	1,503	1,462	97.3	1,462	97.3	－	0
	公共用地取得事業	2,719	2,405	88.4	2,405	88.4	－	0
	学校給食センター事業	2,189	2,104	96.1	2,104	96.1	－	0
	公債管理	123,479	122,308	99.1	122,308	99.1	－	0
	計	318,578	310,785	97.6	310,595	97.5	387	190

（注）１　収入割合・支出割合は円単位での割合を示す。

２　表示単位未満を四捨五入してあるので計が一致しない場合がある。

(3)　公営企業会計

事　業　の　概　況

① 病 院 事 業

青葉病院

千葉市立青葉病院は、平成15年5月、高齢化の進展や多様化する医療ニーズに応えるため、県立青葉の森公園の隣接地に開院しました。

救急・血液疾患・精神・感染症などの特殊医療やリハビリテーション機能に特色があり、高度先端医療に取り組み、地域の中核的な病院としての役割を果たしています。また、電子カルテシステムを中心とする総合医療情報システムを導入し、効率的で良質な医療を提供しています。

海浜病院

千葉市立海浜病院は、昭和59年10月、高度で先端的な診療機能を持つ地域の中核的な病院として、幕張メッセに近い海浜地区に開院しました。

高度医療として、心臓血管外科診療を中心とした、循環器疾患診療体制を整備するとともに、新生児科診療では新生児集中治療室病棟を設置し、集中的な医療を必要とする新生児に対応しています。また、夜間救急初期診療部を設置し、内科・小児科の24時間救急診療体制を整備しています。

患者の利用状況

区　分	入院患者数	１日平均	外来患者数	１日平均
青葉病院	人 106,353 (112,240)	人 291 (308)	人 200,846 (208,826)	人 820 (852)
海浜病院	80,318 (88,215)	219 (242)	166,803 (182,448)	635 (697)

※(　)は前年度の状況です。

② 下 水 道 事 業

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠くことのできない重要な都市基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

事業実績は、平成19年度末の事業認可面積13,067haのうち、12,112haが整備済みとなり、接続人口が16,156人増加して887,291人となったため、接続率は97.6%となりました。

雨水管渠整備については、中央雨水１号貯留幹線２工区の整備を継続して実施したほか、浸水対策として、雨水貯留・浸透施設の設置を行い、地下水の涵養にも配慮した施策を推進しました。また、合流式下水道の改善については、雨天時越流水による水質汚濁対策として、稲毛黒砂貯留管の整備を終了し、引き続き稲毛黒砂貯留管その２の整備に着手しました。汚水管渠整備については､武石町２丁目、浜野町、土気町等の面整備を推進した結果､整備面積が35ha増加しました。

ポンプ場建設については、中央雨水ポンプ場の整備を継続して実施し、処理場建設については、南部浄化センターにおける高度処理施設の建設を継続して実施したほか、中央浄化センターの汚泥処理の効率化を図るため汚泥輸送圧送施設の整備を実施しました。また、老朽化した施設の改築・更新として、南部浄化センターのＡ系最終沈殿池汚泥掻寄機更新工事及び蘇我雨水ポンプ場の建築設備改良工事を実施しました。

③ 水 道 事 業

平成19年度末の市営水道の普及状況は、計画給水区域内人口56,811人に対し、給水人口は44,072人で、普及率は77.6%となり、前年度に比べ0.6ポイント増加しました。

拡張事業では、平成20年度に給水開始を予定しているいずみ台ローズタウンに配水管を整備いたしました。

改良事業では、緑区あすみが丘地区の鉛給水管873件を改修いたしました。

経 理 の 状 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の決算状況は次のとおりとなっています。

① 病 院 事 業

（単位:百万円）

区 分		予算現額	収入		支出	
			執行額	執行割合	執行額	執行割合
青葉病院	収益的収入	9,646	8,814	91.4%		
	収益的支出	9,646			9,420	97.7%
	資本的収入	88	87	98.9%		
	資本的支出	1,549			1,547	99.9%
海浜病院	収益的収入	7,368	6,679	90.6%		
	収益的支出	7,368			6,931	94.1%
	資本的収入	494	478	96.8%		
	資本的支出	1,107			1,063	96.0%

(注)表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

資本的収支において、収入額が支出額に対して不足する額２０億４千５百万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

② 下 水 道 事 業

（単位:百万円）

区 分	予算現額	収入		支出	
		執行額	執行割合	執行額	執行割合
収益的収入	22,801	22,473	98.6%		
収益的支出	22,330			21,968	98.4%
資本的収入	28,476	18,899	66.4%		
資本的支出	36,639			26,526	72.4%

(注)表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

資本的収支において、収入額（前年度財源充当額を除く。）が支出額に対して不足する額８６億１１百万円は当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

③ 水 道 事 業

（単位:百万円）

区 分	予算現額	収入		支出	
		執行額	執行割合	執行額	執行割合
収益的収入	2,131	2,072	97.3%		
収益的支出	2,062			2,015	94.6%
資本的収入	1,894	1,624	85.7%		
資本的支出	2,486			2,228	89.6%

(注)表示単位未満を四捨五入してあるので、割合が一致しない場合があります。

資本的収支において、収入額が支出額に対して不足する額６億４百万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

損益勘定留保資金

収益的支出において、減価償却費のように現金の支出を必要としない費用を計上し、企業内に留保してある資金をいいます。

Ⅵ　財　政　指　標

財政指標は、各地方公共団体の財政構造を比較し分析するために用いられる数値です。

平成19年度からは、新たに「健全化判断比率」や「資金不足比率」という指標が定められ、これまでの指標では対象となっていなかった、「国民健康保険事業」などの公営事業会計、「病院事業」などの公営企業会計、や「土地開発公社」などの外郭団体が新たに対象に加わりました。

また、健全化判断比率や資金不足比率には「早期健全化基準」、「財政再生基準」及び「経営健全化基準」が設けられ、これらの基準を超えた場合、計画的に財政の健全化を図らなくてはなりません。

ここでは、平成19年度決算における財政指標の数値をお知らせします。

※千葉市におけるそれぞれの指標が対象とする会計や外郭団体は以下のとおりです。

一般会計等	一般会計			実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率	将来負担比率
	一般会計等に属する特別会計		母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計						
			霊園事業特別会計						
			都市計画土地区画整理事業特別会計						
			市街地再開発事業特別会計						
			公共用地取得事業特別会計						
			学校給食センター事業特別会計						
			公債管理特別会計						
公営事業会計	一般会計等以外の特別会計のうち、公営企業に係る特別会計以外の特別会計		国民健康保険事業特別会計						
			老人保健医療事業特別会計						
			介護保険事業特別会計						
			後期高齢者医療事業特別会計（H20～）						
			競輪事業特別会計						
公営企業会計	公営企業に係る会計（地方公営企業法を適用する事業または地方財政法施行令第37条の事業）	法適用企業	病院事業会計	資金不足比率（会計ごと）					
			下水道事業会計						
			水道事業会計						
		法非適用企業	農業集落排水事業特別会計						
			中央卸売市場事業特別会計						
			動物公園事業特別会計						
一部事務組合			千葉県市町村総合事務組合						
			千葉県後期高齢者医療広域連合						
地方三公社等			千葉市土地開発公社						
			千葉市住宅供給公社						
			千葉市都市整備公社						

1　健全化判断比率

・実質赤字比率：翌年度に繰り越す財源を除いた実質的な収支における赤字額の標準財政規模に対する割合を示す数値。（収支が黒字の場合「－」で示されます。）

・連結実質赤字比率：公営事業会計や公営企業会計を含めた全会計での赤字額の標準財政規模に対する割合を示す数値。（収支が黒字の場合「－」で示されます。）

・実質公債費比率：地方債の元利償還金のほか、「準元利償還金」と呼ばれる債務負担行為の償還などを含めた実質的な公債費の標準財政規模に対する割合を３カ年平均で示す数値。

・将来負担比率：地方債や債務負担のほか、外郭団体への損失補償など市に関連するすべての負債残高の標準財政規模に対する割合を示す数値

項　　目	千　葉　市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	11.25	20.00
連結実質赤字比率	－	16.25	40.00
実質公債費比率	19.6	25.0	35.0
将来負担比率	311.6	400.0	－

※将来負担比率の財政再生基準は定められていません。

2　資金不足比率

未払金などの流動負債が現金・預金などの流動資産を上回る「資金不足額」の事業規模（料金収入）に対する割合を会計ごとに示す数値。（資金が余剰している場合は「－」で示されます。）

農業集落排水事業	中央卸売市場事業	動物公園事業	経営健全化比率
－	－	－	20.0
病院事業	下水道事業	水道事業	
－	－	－	

3　財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な一般財源に対する市税等の割合を示す数値であり、普通交付税の算定に用いる「基準財政収入額」を「基準財政需要額」で除して得た数値の３カ年の平均値です。
この数値が高いほど、財政力が強いとされ、１を超える地方公共団体は、普通交付税の不交付団体となります。

千　葉　市	政令市平均
1.004	0.847

4　経常収支比率

経常収支比率は、市税や地方交付税など毎年度連続して経常的に収入される経常一般財源等に占める人件費や公債費等の経常的経費に充てられる一般財源の割合を示す数値であり、この数値が高いほど、財政構造が硬直的であるとされています。

千　葉　市	政令市平均
96.5	94.2

Ⅶ　千葉市のバランスシートと行政コスト計算書

千葉市を含め官公庁で用いられている会計手法（現金主義・単式簿記）は、単年度の収支状況を明らかにすることに主眼が置かれており、『過去からの資産や負債などの積み重ね（ストック）』や『資産形成につながらない当該年度の行政サービス提供に要した経費（コスト）』に関する情報が不足していると言われています。

そこで、民間企業で用いられている発生主義・複式簿記に基づく企業会計的手法により本市の財政状況を明らかにする資料のひとつとして『バランスシート』と『行政コスト計算書』を作成しました。

なお、平成19年度につきましては、国において策定された地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針に基づき、財務書類４表の整備を標準形とした公会計の整備を推進しております。そのため、バランスシート及び行政コスト計算書の公表については、財務書類４表に含めた形で来年度の市の財政において公表を予定しております。

平成20年12月

市の財政（財政状況の公表）

平成20年12月１日発行

編集
発行　千葉市財政局財政部財政課

千葉市中央区千葉港１番１号
電話 043（245）5077

この印刷物は再生紙を使用しています。

※本市の予算・決算など、財政に関するその他の資料については、財政課ホームページをご覧ください。

http://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/zaisei/

THE FLOWERY CITY・CHIBA

花の都・ちば